

在台湾学汉语

第二十九届足羽高中汉语短训班

第 6 期
2 0 2 0 . 2 . 5
星 期 三

九份最高！

2月4日（火）14：00。待ちに待った“九份（Jiǔfèn）”にバスで出発。九份は台北の約30kmに位置する山あいの小さな町。「千と千尋の神隠し」の舞台とも言われている場所です。バスが出発してわずか「9分」で到着するはずはなく、1時間程バスに揺られ無事到着。人が少ないレアなタイミングで到着したため、スムーズに階段を上っていくことができました。全員の息が切れかかるところには映え^{【注1】}スポットが待ちました。生徒は思い思いに写真を撮り、その後お土産屋さん巡りを楽しんでいました。



夕方17：30になると、辺りが暗くなり始め、赤提灯に灯りが灯されました。天候はあいにくの雨でしたが、霧がかった感じがよりノスタルジックな雰囲気を醸し出していました。夕食は“矿工餐厅（Kuàngōng cāntīng）”で、台湾料理を堪能しました。

【注1】「ばえ（る）」と読みます。詳しくは語学研修レポートNo.5を参照。



《生徒の日誌より》

今日は九份に行きました。私はジブリが大好きで特に好きなのは千と千尋です。その舞台になった九份に行けて本当にうれしかったです。（霧峰 莉子）



今日は九份に行きました。阿里山茶と烏龍茶を買いました。阿里山茶が発音がめちゃくちゃ「ありさちゃ」に聞こえて、私も「ありさ」だよと話したら200元安くしてくれました。（前田 亜莉紗）

今日は九份に行きました。店員さんは日本語がめちゃくちゃうまくてめっちゃ褒めてから「安くして」って中国語で言ったら少しだけ安くしてくれました。交渉成功！！大成功！！（大窪 綾香）

